

# 平成24年度 遠野市立小友小学校の復興教育の推進

## 学校教育目標

- 1 「進んで学びよく考える子ども」 ◎ 確かな学力を身につける子ども
- 2 「明るくて思いやりのある子ども」 ◎ 心をこめてあいさつができる子ども
- 3 「健康でねばり強い子ども」 ◎ よく遊び、進んで体を鍛える子ども

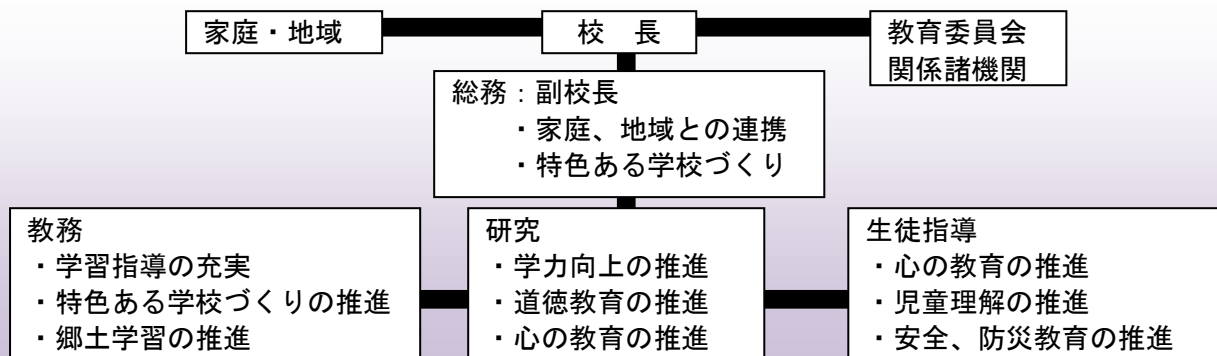
## 学校経営の基本方針

- 1 本校教育目標の具体像を明確にし、教職員の英知と情熱を結集し、その具体化に実践的態度で取り組み、家庭や地域社会と連携を図りながら、地域の特色を活かした魅力と活力ある学校づくりを目指す。
- 2 全教職員の共通理解と保護者・地域の人々との共通認識による支援と協働により、復興教育に取り組み、これからの生き、新しい世界を創造していく人材となる児童のための教育を推進していく。

## 復興教育の位置づけ

本校では、心の教育に重点を置き、児童一人一人の人間性を育てる教育実践を推進し、「自分を見つめ他との関わりを持ちながら未来を切り開いていくことができる人間の育成」に努めてきた。今年度、復興教育に取り組むことにより、さらにその充実を図るとともに、特にも道徳の時間及び様々な体験活動を通して命や絆の大切さを学び、郷土を愛しその復興・発展を支えようとする強い心を持った児童の育成を目指す。

## 復興教育推進体制



## 推進校としての主な取り組み

### I 道徳教育の推進（主題研究）

道徳の時間を通して郷土愛を育むとともに、思いやりの心・感謝の心・自他の生命の尊重などの心の教育を充実させる。



### II 総合的な学習の時間を中心とした横断的な体験活動

#### ○地域理解学習



・地域理解学習を推進し、全校表現活動「小友の話っこ聞きたいな」を通して、ふるさと小友のよさを知る。

#### ○福祉教育



・小友町内や沿岸の福祉施設を訪問し自分たちができる、「人のために役立つ活動」を実践する。

#### ○キャリア教育



・「夢の設計図」の作成を通して、将来へのイメージ作りと正しい勤労観を学ぶ。

【道徳教育と様々な体験活動等の関連のイメージ図】

推進テーマ				
「郷土を愛し、その復興・発展を支える「ひとづくり」を目指して」 －道徳教育と体験活動との関連を活かした復興教育－				
主な教育内容				
	体験的活動	道徳の時間	各教科等の学習 日常指導・その他	
1学期	○月 行事	共通の価値項目 (年間3時間の場合) 道徳授業①	生活科・社会科 総合的な学習の時間 年間 朝・帰りの会 行事のふりかえり	
2学期	○月 行事 復興教育との関連	道徳授業②	○月 地域行事 ○月 全校文集の作成	
3学期		道徳授業③	○月 地域行事	
関連項目	<b>主な学校行事</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・始業式</li> <li>・運動会</li> <li>・学習発表会</li> <li>・遠足</li> <li>・校外学習</li> <li>・野外活動</li> <li>・修学旅行</li> <li>・水泳・陸上記録会</li> <li>・終了式</li> <li>・卒業式</li> </ul>	<b>校内研究</b> 心豊かでたくましい児童を育てる道徳教育  <b>「復興教育」に 関連する価値項目</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土愛</li> <li>・思いやり</li> <li>・尊敬・感謝</li> <li>・生命尊重</li> <li>・勤労・社会奉仕、公共心</li> <li>・向上心、個性伸長</li> </ul>	<b>地域理解学習</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「小友の話っこ聞きたいな」(全校表現活動)</li> <li>・郷土学習</li> <li>・伝統芸能「しし踊り」</li> </ul> <b>福祉教育</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉施設訪問活動</li> <li>・高齢者へのプレゼント</li> <li>・復興等の募金活動</li> </ul> <b>キャリア教育</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培活動等の勤労体験</li> <li>・夢実現のための交流会</li> </ul> ・全校文集づくり	学校で <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童会活動</li> <li>・学級活動</li> <li>・清掃</li> </ul> 地域で <ul style="list-style-type: none"> <li>・小友まつり</li> <li>・八坂神社まつり</li> <li>・鷹鳥屋祭り</li> <li>・裸参り</li> </ul>
	<b>「いわての復興教育」プログラムの学習対象</b> (本校の教育活動と関連するもの) <ul style="list-style-type: none"> <li>・命…①生命の尊さ ②生きていることのすばらしさ ③生きることの希望・夢・たくましさ</li> <li>・絆…④家族 ⑤友情 ⑥地域 ⑦郷土 ⑧感謝 ⑨共感・支え合い ⑩ボランティア</li> </ul> (「いわての復興教育プログラムP79より)			

<実践資料について>

**地域理解学習**：道徳の授業（4年「石わりざくら」）No.2

「小友の話っこ聞きたいな」の取組 No.3

**福祉教育**：道徳の授業（5年「小さな手から」）No.4

「福祉施設訪問」の取組 No.5

**キャリア教育**：道徳の授業（6年「あこがれのパティヰ」）No.6

「夢の設計図」の取組 No.7

<b>道徳 第4学年</b>	ね ら い	郷土を守る人々の働きを知り、郷土を愛する心情を育てる。4-(5)
--------------------	-------------	----------------------------------

【資料名】 「石わりざくら -藤村益治郎-

【対象】 第4学年 男5名 女6名 計11名

【復興教育の視点】

郷土の宝を守り続けようとする思いや努力の大切さを学ぶことにより、郷土の復興・発展を支えようとする人材の育成を図る。

【指導構想図】

	体験的活動	道徳の時間	各教科等の学習	日常指導・その他
5月 6月	<p>○遠足(盛岡) 実際の石わりざくらを見学させ、手入れが行き届いていることを実感させる。</p> 	<p>◇郷土を愛する 「ふっこうの一本松」(郷土愛) 4-(5) お互いに支え、支えられて暮らす郷土のよさに気づき進んで大切にしようとする心情を育てる。</p>	<p>○社会 「くらしを守る」 火事を防ぐ仕事や工夫を学び、町や自分の大事なものを守りたいという願いや思いを学ばせる。</p>	<p>○地域の伝統に触れたときに、思ったことを書かせ交流させる。</p> <p>○八坂神社大祭</p> 
8月 9月	<p>○高寿園訪問 奇跡の一本松を実際に見せ、保存しようとする人々の思いを考えさせる。</p>			
10月	<p>○総合的な学習の時間 「小友町と金山 能伝坊が残したもの」 小友町に伝わる宝を調べることから、小友のよさを知り小友に誇りを持たせる</p>	<p>◇郷土をひらく 「外山開拓の祖 及川恒次」(郷土愛) 4-(5) 郷土を拓いてきた人々の思いを知り、郷土を愛する心情を育てる。</p>	<p>○総合的な学習の時間 「しし踊りの引き継ぎ」</p>	<p>○裸参り</p> 
2月	<p>○学習発表会 「小友の話っこ聞きたいな」 地域理解学習で学んだことを基に小友のよさを表現させる。</p>			<p>○裸参り</p> 

## 【実践の概要】

この資料は、庭師の益治郎さんが、29歳の時、盛岡の裁判所が火災に見まわれた際、石わりざくらに向かってくる火の粉を必死に払い焼失を防ぎ、その後も再び花が咲くように必死に手入れをして、50年間盛岡の宝を守り続けたという内容である。

父親と一緒に手入れをする益治郎さんの石わりざくらに対する熱い思いが紹介されている。この授業を通して益治郎さんの人柄や庭師としての思いにふれさせ、総合的な学習の時間で調べている小友の宝についても関連させながら、「郷土の宝」を守ることの意義について考えていくという流れで授業を展開した。



## 【実践の詳細】

益治郎さんは、どんな気持ちで火の粉をはらっていたのでしょうか。

- 自分のことはどうなってもいいから、何としてでも石わりざくらを助けたい。
- 盛岡の大切な宝をなくしたくない。
- 石わりざくらは自分の命と同じくらい大切なもの。



益治郎さんは、どんな思いで桜の手入れをしていたのでしょうか。

- 自分の子どものように思っているから、どんなに苦労があっても、当然のように世話をするのだ。
- 盛岡の宝は、自分が守る！
- おれも精一杯がんばるからお前もがんばれよ。



小さい芽を見つめながら、益治郎さんは、どんなことを思ったのでしょうか。

- よくここまで育ったな。
- 本当にうれしい。がんばってきてよかった。
- 盛岡の宝を守ることができたぞ。

## 【児童の感想】

- 火事の日には益次郎さんとお父さんが石わりざくらを守っていたので、すごく石わりざくらを愛しているんだなと思いました。
- 益治郎さんはあきらめないで石わりざくらを守ったのがすごいなあとと思いました。
- 小友にも石わりざくらと同じ宝があります。だから、その宝物を守ってみたいです。
- これからも小友の宝についていろいろ調べてみたいです。

## 【まとめ】 ○成果 ●課題

- 導入で庭師の仕事の大変さにふれていたことで、「焦げた桜の枝を何とかしたい」という石わりざくらを守る強い思いをとらえさせることができた。
- 終末で小友の歴史に詳しい菊池金孝さんへのインタビューは、今後の総合的な学習の時間の活動につなげる意味でもよい試みだった。
- 総合的な学習の時間での体験活動や遠足などの行事、地域での祭りにもかかわる「郷土の宝」を守る題材を扱うことで郷土を愛する心や守っていきたくて願う気持ちに気がつくことができた児童が多かった。
- 書く活動では、益治郎さんについて考えたことだけでなく、小友の宝について考えたことを書けるようなワークシートにし、一般化して考えられる視点を日々の活動の中で育てていきたい。

<p><b>地域理解学習</b></p>	<p>ねらい</p>	<p>地域の伝統文化や伝承について理解を深め、学習したことを活かして「小友の話っこ聞きたいな」で全校表現活動をさせる。</p>
----------------------	------------	---

【実践名】 全校表現活動「小友の話っこ聞きたいな」

【対象】 全校児童57名

【復興教育の視点】

地域に伝わる昔話を基に昔の人々の暮らしや知恵を学ぶこと、地域の伝統芸能である「長野しし踊り」を伝承することなどにより、地域を誇りに思う気持ちを育て、郷土の復興・発展を支えようとする人材の育成を図る。

【実践の概要】（3・4年生「能伝坊」の例）

**道徳**

◇美しい郷土  
「石わりざくら  
～藤村益治郎～」  
(郷土愛) 4-(5)  
自分たちの郷土を愛し、郷土のために尽くしていこうとする気持ちを育てる。

**総合的な学習の時間**

**単元名「小友町と金山、能伝坊が残したもの」(21時間扱い)**

- 小友に伝わる金山の話調べよう。(3時間)
- その頃の人々の暮らしについて調べよう。(3時間)
- 常楽寺のお宝にはどんなものがあるのだろう。(2時間)
- 「能伝坊」と「能楽坊」はどんな人だったのだろう。(2時間)
- 「能傳房神社」探検隊活動開始！  
G T 菊池金孝さんと出かけよう。(3時間)
- 学んだことを劇につなげよう。(5時間)
- 学習のまとめをしよう。(3時間)

全校表現「小友の話っこ聞きたいな」  
**学習発表会**

【実践の詳細】

【常楽寺の見学】



「道徳の『石わりざくら』のように、小友にも地域の宝はあるのかな。」

「大きなお寺の常楽寺なら宝があるかも」～見学～  
「常楽寺に伝わる宝には、金が使われているものが多いね。」  
「小友の金山で採掘した金を使っているそうだよ。」

「小友の金山の話には、『能伝坊』と『能楽坊』という2人の兄弟のお坊さんがでてくるけど、一体何をした人たちなのだろうね。」

「調べてみたいね。」

【「能傳房神社」の見学】

今の和歌山県に高野山という仏教が大変盛んな場所がある。その高野山の奥座敷のふすまには鶴と亀の絵が金で描かれていたそうだが、その金は小友で採れたものだったそうだ。

しかし、長い間に金のはがれ落ちてきたために、修復に必要な金を求めて「能伝坊」と「能楽坊」の兄弟が小友にやってきたそうだ。

和歌山県から岩手県まで、長い道のりを歩いて命がけできたんだ。そのくらい小友の金は良質だったということさ。



ゲストティーチャー  
菊池金孝さん



「『能伝坊』と『能楽坊』の兄弟は本当にいました！  
わたしは、金孝さんの話を聞いてびっくりしました。」

**「『能伝坊』たちも、郷土のふすま絵を守るために、小友まで命をかけて歩いてきたことを知り、私たちもこの『能傳房神社』に伝わる昔話を守らなければと思いました。」**

「『能伝坊』たちのお話は、悲しいお話でした。金を仲良く分けあうことができたなら、今でも高野山のふすま絵も小友の金山も残っていたかもしれません。」

**「『小友の話っこ』では、『能伝坊』たちが、わざわざ金を探しに小友まで来たときの気持ちや金を見つけた時の喜びなどを表現して、小友の素晴らしさを伝えたいです。」**

### 【学習発表会「小友の話っこ聞きたいな」での表現活動】

「ぼくは、『能伝坊』を演じました。せっかく見つけた金の鉾脈のために、村人に裏切られることになる悲しい気持ちを表情や歩き方で表現しました。」

「わたしは、村人を演じました。最初は金を見つけてくれた『能伝坊』に感謝していたけど、だんだん、その金を持っていかれるかと思い、『能伝坊』たちを裏切ってしまいました。村人は悪い。**けど、村人も小友の宝を守りたかったのではないかなというのを演じながら考えました。みんなが幸せになるように地域の宝を守るの難しいことなのかもしれません。」**

「村人が『能伝坊』たちを追い出してから21日目に大雨が降って、金脈も全部流されてしまったそうです。一人占めしようとするのが罰が当たるのだと思いました。**みんなの宝はみんなで守っていかなければならないと強く感じました。」**



### 【児童の感想】

- 一生に一度だけ願い事を叶えてくれるという「能傳房神社」です。どうして、そんな言い伝えがあるのかこの学習を通して分かりました。**「能傳房神社」は、小友の人たちが「忘れてはならないこと」を教えているのだと思います。みんなのことを考え、みんなのために生きること、5年生が演じた「お仙が淵」にも通じるものがあると思いました。私たちは、「小友の話っこ」を通して、心の宝を守っているのだと思いました。**

### 【まとめ】 ○成果 ●課題

- 盛岡見学で見た石わりざくらから、地域の宝についての興味関心を継続させて、全校表現活動につなげることができた。横断的な指導構想図があったために、年間の体験活動と道徳での心の学習を関連づけ、地域の宝を守る心情を高めることができた。
- 指導者は「何を学んでほしいのか、何を感じてほしいのか」というねらいをしっかりと持ち、子どもたちの学習活動を見取りながら、体験活動と道徳の授業を構成・連携していく難しさがある。

<b>道徳 第6学年</b>	ね らい	自分の個性や長所を知り、それを積極的に伸ばして、将来に活かしていこうとする心情を育てる。1-(6)
--------------------	---------	---


【資料名】 「あこがれのパティシエ～好きな道を歩む～」

【対象】 第6学年 男8名 女2名 計10名

【復興教育の視点】

将来の夢を持ち、自分のよさを将来に活かし夢の実現に向かって努力することの大切さを学ぶことにより、郷土の復興・発展を支えようとする人材の育成を図る。

【指導構想図】

	体験的活動	道徳の時間	各教科等の学習	日常指導・その他
4月				
5月	<p>○水泳・陸上記録会 個々の目標を設定し、達成に向けて努力する態度を育てる。</p> 	 <p>◇あこがれのパティシエ 1-(6)向上心、個性の伸長 自分の個性や長所を知り、それを積極的に伸ばして将来に活かしていこうとする心情を育てる。</p>	<p>○学級活動 自分たちの学級生活をよりよくしようとする態度を育てる。</p>	<p>○朝・帰りの会（年間） 「今日のキラリ」で友達のよさや頑張りを認め合う意識を高める。</p>
6月				
7月				
8月				
9月	<p>交流会講師 茂市久美子さん</p>		<p>○体育 水泳・陸上運動 目標を決めて練習に取り組み、進んで体力や技能を向上しようとする態度を育てる。</p>	
10月	<p>○総合的な学習の時間（交流会・夢の設計図を作ろう） 様々な職業を知るとともに自分の興味やよさを考えながら「将来の夢」を設計する活動を通して、自分の将来に関心を持たせる。</p>		<p>○国語 「夢の設計図」をもとに、将来の夢や思いについて作文に書かせる。</p>	<p>○行事の振り返り（年間） 書く活動を取り入れ、自分のがんばりやよさを見つめさせる。</p>
2月	<p>○学習発表会 進んで活動し、文化的活動に親しむとともに、個々の役割を考えながら発表を成功させようとする態度を育てる。</p>	<p>◇人間はずばらしい 1-(6)向上心、個性の伸長 自分には自分らしい独自の素晴らしさがあることを知り、その力を把握してよりよく伸ばしていくことで自分の可能性を広げていこうとする心情を育てる。</p>	<p>○社会 世界の人々とのつながりをひろげよう 世界に目を向けて、自分の未来は、様々なところにつながっていることに気づかせる。</p>	
3月	<p>交流会講師 千葉絢子さん</p>		<p>○国語・家庭科 卒業文集の制作に取り組み、自分の成長を自覚させる。 また、成長を見守ってくれた家族やお世話になった先生方に感謝の気持ちをもたせる。</p>	

## 【実践の概要】

この資料は、パティシエである遠藤さんが、「一人前のケーキ職人になりたい」という夢を実現するために努力し続け、本場パリで腕を磨き、41歳で自分の店を持つという内容である。

「ケーキ作りが大好き」「人を喜ばせたい」という優しい気持ちを持って仕事を続けていることも紹介されている。この授業を通して、「ケーキ作りが大好き」だから辛い仕事もできるようになるまで努力し夢を叶えてパティシエになった遠藤さんの姿や人柄にふれることで、「その人らしさ」を感じとらせ、自分のよさを見つめ直し、将来の夢や職業観にもつなげていくという流れで授業を展開した。

## 【実践の詳細】

同じことを何度もくり返してできるようになったとき、遠藤さんはどんな気持ちになったでしょう。

- やったかいがあったな。やっぱり、がんばってよかった。
- 苦勞して続けてきてよかった。
- 改めて、ケーキ作りが楽しい。
- これでお客さんに喜んでもらえる。うれしいな。

遠藤さんは、パリに行くためにいっしょうけんめい働きながらどんなことを考えていたのでしょうか。



- パリに行って、さらにうでをみがきたい。
- 難しいかもしれないけど・・・パリに行くためにがんばろう。
- 絶対にパリに行きたい。もっとケーキづくりが上手になりたい。



遠藤さんは、どんな思いでケーキ作りを続けてきたでしょう。

- 自分の夢を叶えるためにもお客さんのためにも、みんなに喜ばれるケーキを作りたい。
- 自分が作ったケーキでみんなを幸せにしたい。
- 食べた人が笑顔になるようなケーキを作りたい。
- 特別な日にふさわしいケーキを作りたい。
- ケーキ作りが大好き。もっともっと作りたい。

## 【児童の感想】

- ぼくは、夢は簡単にあきらめるものではなく、あきらめなければ才能がなくても叶えることができることを学びました。ぼくは、自分のよさなど考えたことがなかったので、これから見つけて、そのよさをのばしていきたいです。将来は、大工になるという夢をもっているのでおじいちゃんの手伝いを進んでやって覚えたいと思います。そして、遠藤さんのように夢をあきらめないで、絶対に夢を叶えたいと思います。

## 【まとめ】 ○成果 ●課題

- 「今日のキラリ」で友達のよさや頑張りを認め合う意識が高まっていたことで、パティシエの大変さや遠藤さんの仕事ぶりをしっかりおさえることができ、一生懸命働きながら「パリに行きたい」という夢に向かって努力する遠藤さんの姿や思いに共感させることができた。
- 「書く活動」では、遠藤さんが「人を喜ばせたい、おいしいケーキを食べてほしい。」と願って努力する姿を「遠藤さんのよさ」ととらえ、ほぼ全員が「遠藤さんのように自分も夢を叶えたい」という内容で書き表していることから、価値項目に迫ることができたと思われる。
- 終末で「茂市さんとの交流会」について触れたことは、学んだ価値を次の体験活動につなげる意味で効果的だったが、交流会までの間に新聞記事や身近な話題などから、「生き方」について考えさせる機会を多く取ることが大切である。



総合的な学習の時間	ねらい	童話作家茂市久美子さんやアナウンサー千葉絢子さんとの交流を通して、自分の夢を叶えるための道筋や努力、その職業観にふれさせる。
-----------	-----	--

【題材】 「茂市久美子さんとの交流会」・「千葉絢子さんとの交流会」

【対象】 第5学年・第6学年：19名

【復興教育の視点】

キャリア教育の観点から交流会を通して、夢を実現しようとする強い思いや辛いことを乗り越える気持ち、努力の大切さなどを学ぶことにより、夢をもってたくましく生き、郷土の復興・発展を支えようとする人材の育成を図る。

【実践の概要】

道徳

◇あこがれの  
パティシエ  
1-(6)向上心、個性の  
伸長  
自分の個性や長所  
を知り、それを積極  
的に伸ばして将来に  
生かしていこうとす  
る心情を育てる。

総合的な学習の時間

単元名：「夢の設計図をつくろう」（20時間扱い）

- 将来就きたい職業について調べよう（3時間）
- 未来を拓け「夢の設計図」（10時間）

「本県出身の講師を招いての学習」

- ①童話作家 茂市久美子さんとの交流会（9月実施）
- ②アナウンサー 千葉絢子さんとの交流会（11月実施）

- 中間発表会（2時間）
- 「夢に向かって」（作文：国語と関連 5時間）
- 20年後の自分からの手紙（卒業作文）

【実践の詳細】

【茂市久美子さんとの交流会】

茂市久美子さんの話

「私は、子どもの頃から絵本が大好きで、小学6年生の頃に『私は童話作家になるんだ!』と強く心に思っていました。」  
「夢を叶えるためには**才能・努力・運**の3つが必要ですが、才能は特別なものではなく、**その職業が好きで、そうなりたいと思いつけることが大切です。**」

「物語の題材をいつもいつも探しています。季節の移り変わりや身の回りの出来事・植物や動物、ありとあらゆるものを観察しています。『**疲れませんか**』と聞かれるけど、**好きな童話のためだし仕事だから平気です。苦労なんかありません。**」



「茂市さんのお話を聞いて、やっぱり大切な事は**努力**だと知りました。**あきらめずに好きなことをやっていけば、私にも神様が降りてくるかもしれません。**」  
「ぼくは、一冊の本が、早いものは数カ月で完成するけど、長いものは10年以上かかることにびっくりしました。**その間同じ物語をずっと書いたり、書き直したりするので、好きな道が続けることは**努力**がいることなんだと感じました。」**

【千葉絢子さんとの交流会】



千葉絢子さんの話

「私は、小学4年生から中学2年生まで、いじめられていました。無視や仲間はずれをされたり物を隠されたりするなどひどいものでした。**でも、私は、『きっと明日は、今日よりもいい日がある』と自分に言い聞かせて、一日も休まずに登校しました。』**

「アナウンサーは華やかな仕事に見えるけど、私は報道記者でもあるので、**事故や災害や裁判の取材もします。人が人を裁くことの難しさや悲しさを体験したし、思わず目をそむけなくなる悲惨な事実にも真正面から向き合ってきました。**それは、**私はプロだからです。仕事をしていく上では厳しいのが当たり前、中途半端な気持ちでは、みんなに迷惑をかけることになります。』**

「千葉絢子さんは、意外にも『いじめられっ子』だったそうです。**でも、辛いことや悲しいことを乗り越えてきたから、今が輝いているんだなと思いました。**それに、仕事に就いてからも、事故に遭った女の子の遺族にインタビューしたり大震災の報道で悲惨な現場の取材をしたりして大変な事を何度も何度も経験していることに驚きました。」  
 「千葉さんは、小さなお子さんがいるのに『**仕事なら夜遅くでも朝早くでも出かけなければならない。それが、仕事だし、プロだから。**』と話していたことです。テレビを見てくださる方のために仕事をする事の厳しさも教えていただきました。**私も、美容師になりたい夢があります。お客様のために、いつでも流行に敏感で、きれいにする技術を磨くようなプロになりたいです。』**



【夢の設計図】

将来なになりたいか? **プロのマンガ家**

その理由: **本のマンガでみんなを笑わせて笑顔をしたいから。**

夢実現までのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2011年	12(小6)	学校の物語の本をよく読む 物語の本を買って読む。	本の料金
2012年	13(中1)	中学校に入学 ソフト部に入部	ソフト用品の購入
2013年	14(中2)		〃
2014年	15(中3)	高校受験勉強	〃
2015年	16(高1)	高校入学	入学料 部活費 授業料
2016年	17(高2)		授業料

自分が就きたい仕事について、夢を実現するため、小学校6年生の現在から20年後の32歳まで、その年代で何をすべきか、何を努力しなければならないかを考えるための計画を作成させた。また、夢の実現には何にお金がかかるのかを考えることをきっかけに、周りの人々に支えられ生きていくことに気づかせ、いつでも感謝の気持ちを忘れずにいることを約束した。

『夢の設計図』を作る中で思ったことは、マンガ家になるには、アシスタントになって力を付けて出版社に売り込めばいいと思っていたけど、専門学校に入り基礎を勉強しないとアシスタントにもなれないことが分かりました。**専門学校に入るためには、お金もかかるので、自分ももっとしっかりと勉強しなければと思いました。』**

【まとめ】 ○成果 ●課題

- プロの童話作家、プロのアナウンサーの方から直接お話を聞くことにより、自分の将来について深く考えたり、夢に向かう気持ちを再確認したり、有意義な交流会になった。
- 事前に茂市先生の童話を読んだり、アナウンサーの仕事について調べたりしたことにより、**職業について知識を得ることができ、仕事について考えるきっかけになった。**
- ゲストティチャーを招いての交流会はとても効果的だったので、来年度以降も継続していきたい。**基本的に岩手や遠野に関係が深い方の情報収集を進め、子どもたちの実態や夢に相応しい交流会を企画していく必要がある。**